

## カムイワッカ地区における平成 24 年度事業実施状況報告

### 1 . カムイワッカ地区自動車利用適正化対策

- ・ 知床五湖～カムイワッカ間の道道知床公園線は、平成 24 年 6 月 1 日から 11 月 1 日まで供用された。混雑等が予想される 8 月 1 日から 8 月 25 日、9 月 15 日から 9 月 24 日の計 35 日間に一般車両の通行を規制し、シャトルバスをみの運行を行うマイカー規制を実施し、期間中 11,006 人がシャトルバスを利用した。
- ・ マイカー規制期間を除く一般供用期間の一般車両の利用は 7 月 11 日～10 月 31 日の車両カウントで昨年比 23%増となり、期間中 17,500 台の通行があったと推計される。管理車両等を除き一般車両が 16,600 台利用されたと推計される。
- ・ 網走建設管理部による通行車両カウントや釧路自然環境事務所による渋滞状況調査・滞在時間調査が実施され、一般供用期間における利用状況のモニタリングが行われた。
- ・ カムイワッカの滝入口周辺での車両渋滞は 7 月 14 日(土)、15 日(日)、8 月 26 日(日)、10 月 7 日(日)の 4 日間で見られ、特に 7 月 15 日は渋滞時間が延べ 6 時間とほぼ終日混雑した。利用台数が 557 台/日、84 台/時とシーズン最多を記録すると共に、登山利用者による駐車台が 11 台と多く駐車スペースが限られたことから終日の混雑となった。
- ・ 知床五湖～カムイワッカ間の道道知床公園線にて 5 件の交通事故が発生(単独物損事故 5 件)し、うち 1 件で救急車の出動があった。

### 2 . 硫黄山登山口の利用

- ・ 落石の恐れがあることから平成 18 年より通行止めになっていた道道知床公園線カムイワッカ～硫黄山登山口間について、平成 23 年度より試行として道路特例使用承認申請書を事前に提出した登山者に対し通行を許可している。
- ・ 期間中、落石等の問題もなく、375 件(平成 23 年 328 件)の申請があり、849 人(平成 23 年 635 人)の登山者の利用があった。うち、知床連山縦走者が 355 人(平成 23 年 288 人)、硫黄山登山者が 494 人(平成 23 年 347 人)であった。

### 3 . カムイワッカ湯の滝の利用

- ・ 平成 24 年度のカムイワッカ湯の滝は、平成 18～23 年度と同様に、一の滝上部までを供用区間とした。
- ・ 利用可能期間である 6 月 1 日から 11 月 1 日までの 154 日間の利用者は約 53,000 人と推計される(シャトルバス利用者数及びマイカー利用台数推計値より算出)。
- ・ 北見工業大学と斜里町による雨量観測及び侵食状況のモニタリングが行われた。